

## 鉄道連続立体交差事業及び西武新宿線沿線まちづくりについて

西武新宿線(井荻駅～西武柳沢駅間)鉄道連続立体交差事業の進捗、(仮称)下井草まちづくりラボ(以下「まちづくりラボ」という。)及び下井草夏休みまちづくりプロジェクト(以下「夏休みプロジェクト」という。)の開催状況について、以下の通り、報告いたします。

### 1 西武新宿線(井荻駅～西武柳沢駅間)鉄道連続立体交差事業 (資料1、2、3)

西武新宿線(井荻駅～西武柳沢駅間)の鉄道連続立体交差事業は、令和3年11月に都市計画決定し、令和6年3月に事業認可を取得した。

鉄道附属街路の整備にあたり、既存道路が存在しない路線について、道路法(昭和27年法律第180号)を適用させるため、特別区道の路線認定を行う目的で、道路法第8条第2項に基づき、議決を諮る必要があり、今議会に議案を提出し、都市環境委員会で審議した。

### 2 まちづくりラボ及び夏休みまちづくりプロジェクトの開催状況

#### (1) 応募状況

① まちづくりラボ 52名

(新規申込者38名(内無作為抽出9名) 昨年度から引き続き8名 町会など6名)

② 夏休みプロジェクト 4名 (中学生1名 小学生3名)

#### (2) 開催概要

下井草駅周辺に在住の日本大学工学部土木工学科教授関文夫氏と研究室の大学生の協力を得ながら、まちづくりラボを4回、夏休みプロジェクトを4回開催し、まちあるきや小中学生による「将来住みたいまち」の模型作り及び発表、関教授の説明などを通じて、まちの現状やまちにもとめるものに対する大人と子供の感覚の違い、鉄道連続立体交差事業のイメージなどを参加者間で共有した。(資料4、5)

#### (3) 今後のスケジュール

令和6年10月26日 第5回まちづくりラボ(先行事例見学)

令和6年11月30日 第6回まちづくりラボ(第1回から5回までの内容のまとめ)

令和6年度末 オープンハウス

# 西武新宿線(井荻駅～西武柳沢駅間)連続立体交差事業等の概要図

事業期間 令和6年度から令和21年度

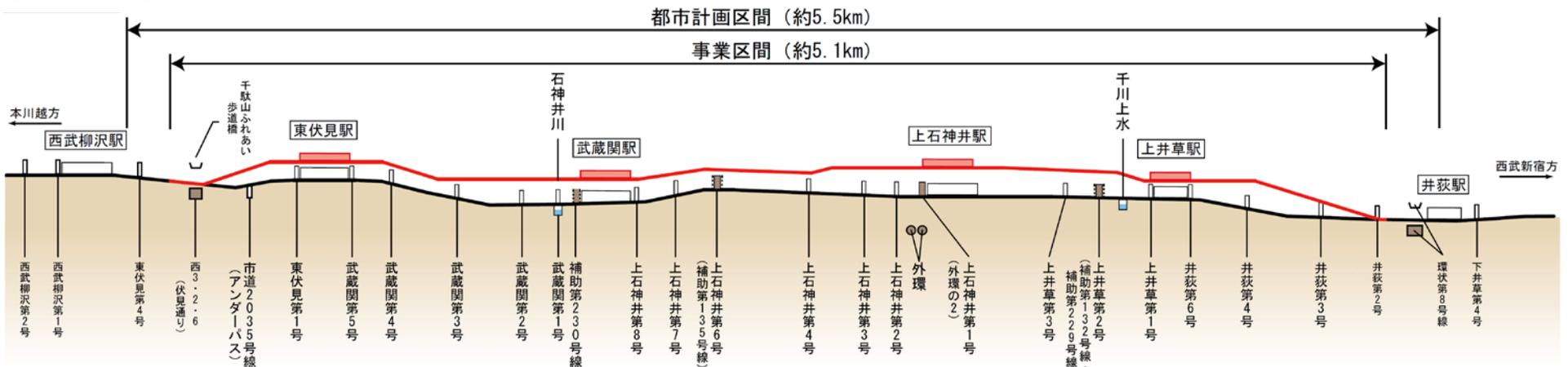
## 【平面図】



※連続立体交差化の都市計画との整合を図り、西3・4・17の都市計画変更の手続（東伏見駅南口駅前広場の面積の変更）を行います。  
 ※この地図は、国土地理院長の承認（平24関公第269号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を使用（30都市基交第527号）して作成したものです。無断複製を禁じます。  
 この図面は、平成24年に実施した航空測量をもとに作成しているため、現在の土地利用が反映されていない場合があります。

凡例		鉄道（計画線）		都市計画道路（事業中・完了）		工事で使用の可能性がある範囲
		鉄道（現在線）		都市計画道路（計画）		河川等
		鉄道付属街路・特殊街路		区画街路		区市境

## 【縦断図】



## 連続立体交差事業等について

### 西武新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）連続立体交差事業とは？

鉄道を一定区間高架化し、多数の踏切の除却と交差する道路との立体化を一挙に実現する事業です。

本事業の実施により、井荻駅から西武柳沢駅間において19か所の踏切が除却されます。

事業の効果：踏切での交通渋滞の解消 道路と鉄道それぞれの安全性の向上  
地域分断の解消

### ● 計画概要図（杉並区内）



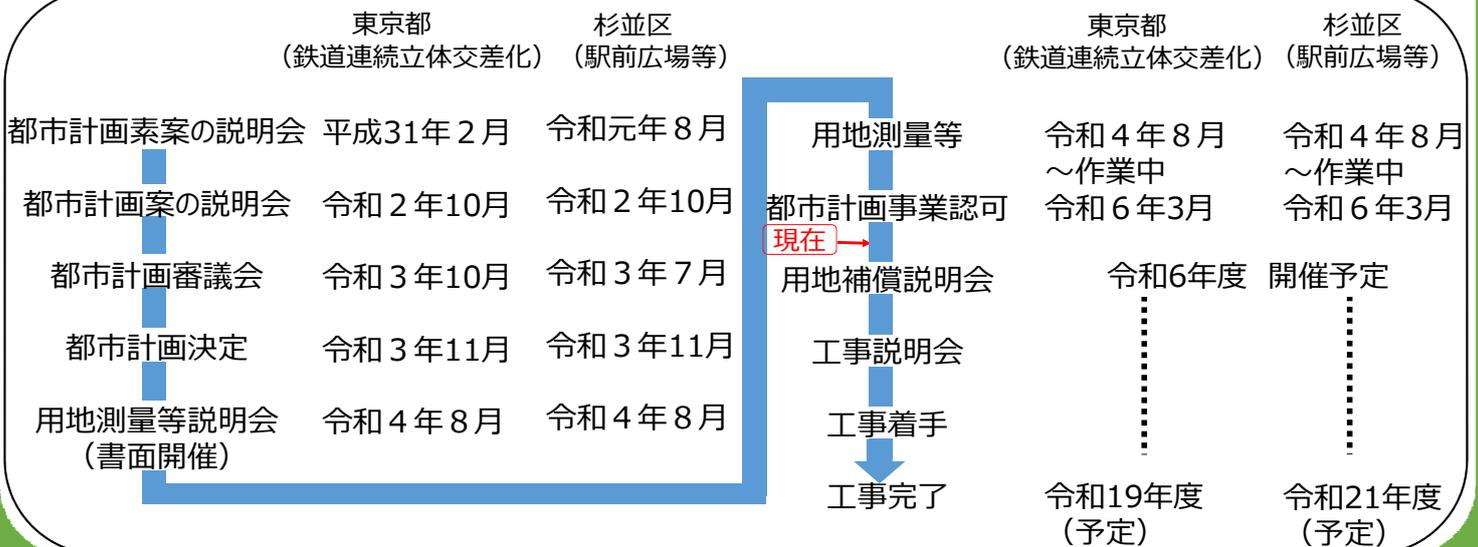
### ● 上井草駅北口駅前広場（杉並区画街路第3号線）等計画図

- ・上井草駅の北側に駅前広場を整備し、バス・タクシー等の乗降場を集約します。
- ・駅に接続するバス通りを拡幅し、安全な歩行者・自転車空間を形成します。

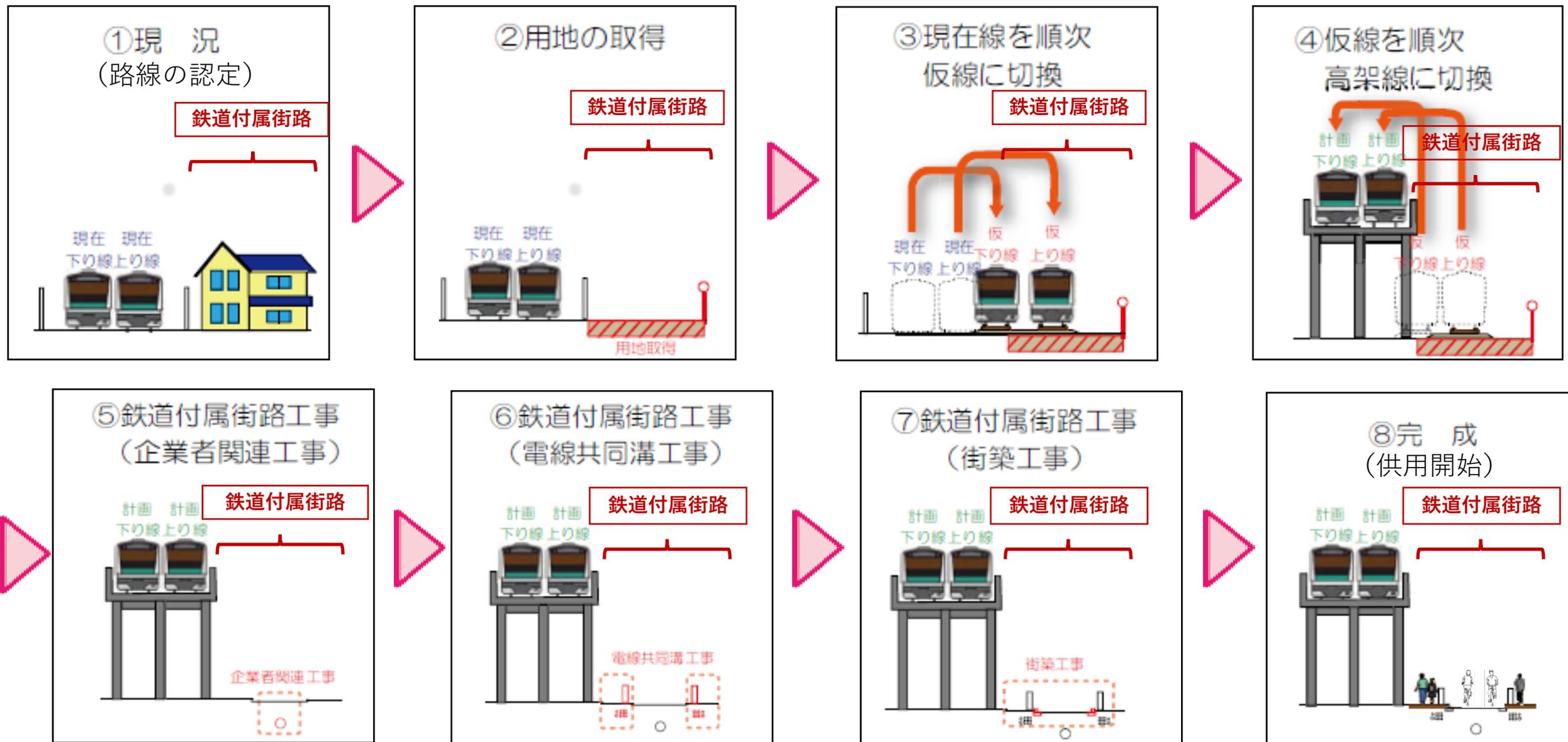
名称	東京都市計画道路 区画街路杉並区画 街路第3号線
規模	道路部分 延長約118m 幅員15m 2車線
	広場部分 2,804m <sup>2</sup>



### ● 鉄道連続立体交差化及び駅前広場等の工事完了までの流れ



# 鉄道高架化及び付属街路の手順（仮線方式）



## (仮称)下井草まちづくりラボ等の開催状況

## ○(仮称)下井草まちづくりラボの開催状況

会場 1・3回目：桃井第5小学校体育館 2回目：下井草駅周辺 4回目：八成区民集会所

回	開催日	時間	参加人数	内容
	実施概要			
	アンケートの主な意見			
1	令和6年7月20日	土 9:00 ～11:15	38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下井草駅周辺まちづくりの経緯と今後</li> <li>・まち歩きへの準備</li> <li>・グループワークの共有</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区から下井草駅周辺まちづくりのこれまでの経緯と今後の進め方、(仮称)下井草まちづくりラボの目的を説明</li> <li>・まち歩きをする上でのおすすめスポットを話し合うグループワーク</li> <li>・各班の内容を自由に見聞きし、他グループの内容の共有</li> </ul>			
	回答数 30 <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者がみんなとても前向きで楽しい会でした。今後も参加したい。</li> <li>・自分たちの町のことを知って、将来を考える機会があることは、大変良い取組。</li> <li>・西武新宿線の立体交差化を見据えて、小中学生も意見を言える場があるというのは、とても良い。</li> <li>・さらなる意見聴取やまちづくりの研究というスタンスは住民参加を目指す上で良い方向。</li> <li>・配布資料は、あらかじめ区のHPなどに掲載し、事前に目を通せるよう工夫してほしい。</li> <li>・下井草の現状をよく知っている参加者と知らない人が混在しており、取組課題がはっきりしない。</li> </ul>			
2	令和6年7月27日	土 8:30 ～11:30	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6カ所のチェックポイントを回るまちあるき</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6カ所（下井草駅構内南北自由通路及び南口駅前広場、八成区民集会所、早稲田通り（三井住友銀行前）、西武信用金庫前、生産緑地、井草さくら公園）のチェックポイントに鉄道連続立体交差事業や生産緑地、歩行者空間等のパネルを展示して、知識を深めてもらうとともにまちあるきを行い、新たな発見や現状の把握をし、その内容を各自まちあるきマップに記載するとともに、オープンチャットを使用して、参加者間で情報を共有した。</li> </ul>			
3	令和6年8月24日	土 9:00 ～11:30	31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道連続立体交差事業のミニ講座</li> <li>・まちあるきの振り返り</li> <li>・夏休みプロジェクトの成果発表</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関教授より模型等を使用し、高架化・地下化のイメージなどを説明。</li> <li>・一人ひとり付箋にまちあるきで感じたことを書き、大きな地図に張り、内容を参加者全員で共有した。</li> <li>・小中学生が、1回から3回までの夏休みまちづくりプロジェクトで学んだことや将来のまちの模型作りの成果を模造紙やパワーポイントにまとめ、参加者に向けて発表を行った。</li> </ul>			
	回答数 20 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学生が感じるまちに課題が興味深く、大人と関心や着眼点に違いがあり面白かった。</li> <li>・小・中学生のアイデアが実現出来ると若い人、子育て世代が集まり、永く栄えるまちになると思う。</li> <li>・まちあるきの振り返りは、まちの魅力と課題が整理され、参加者の意見を共有でき、良く理解できた。</li> <li>・マップの付箋がないエリアは、問題を感じないが、この環境が維持できるような視点が必要。</li> <li>・まちづくりは長い期間がかかるため、幅広い年齢層の意見が必要になるのだと改めて実感した。</li> </ul>			

回	開催日	時間	参加人数	内容
	実施概要			
	アンケートの主な意見			
4	令和6年9月21日	土 9:00 ~11:30	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の振り返り</li> <li>・鉄道連続立体交差事業と下井草駅周辺まちづくりについての勉強会</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続立体交差事業について 日本大学理工学部土木工学科教授中村英夫氏より講義 背景、事業の流れ、補助制度、事業効果、駅周辺のまちづくり事例等の説明</li> <li>・下井草駅周辺のまちづくり 関教授より講義 鉄道部分の高架化・地下化によるイメージを模型と小型カメラを使ったアイレベルでの説明</li> <li>・質疑応答</li> </ul>			
	<p>回答数 24</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道立体交差事業について、制度の基本的なことから、具体的な内容まで網羅されていてよかった</li> <li>・模型を使った立体的なイメージが把握できたのが良かった。</li> <li>・もう少し質疑の時間が欲しかった。</li> <li>・基本的な知識を共有でき、今回の回は、協働作業としてとても大切。</li> <li>・30年後のまちづくりについて、若い世代の声を反映できるようにしたい。</li> </ul>			

## ○夏休みまちづくりプロジェクトの開催状況

会場 1・3・4回目：桃井第5小学校体育館 2回目：下井草駅周辺

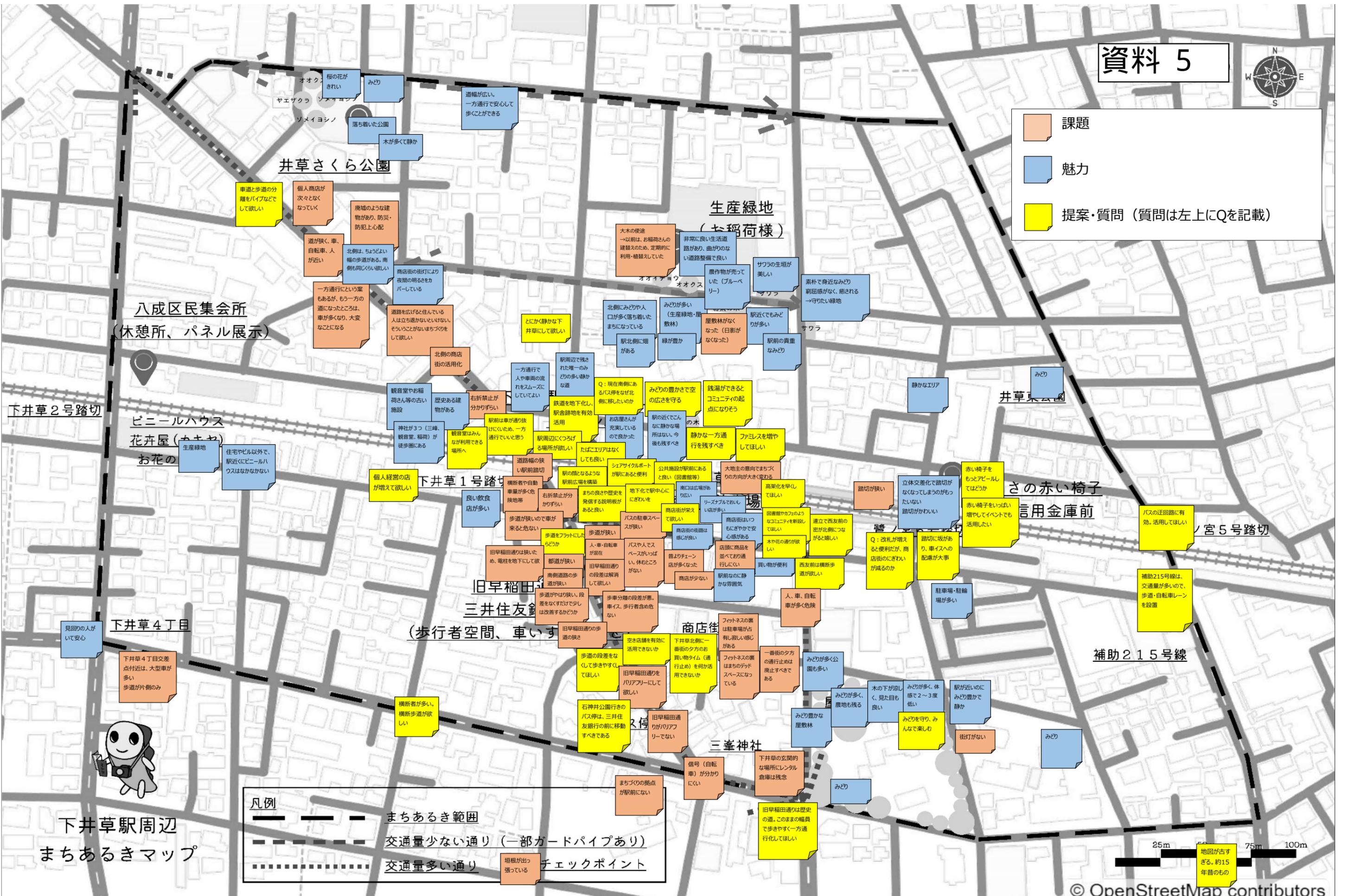
回	開催日	時間	参加人数	内容
1	令和6年7月20日	土 9:00 ~11:15	小学生2	(仮称)下井草まちづくりラボと一緒に実施
2	令和6年7月27日	土 8:30 ~11:30	小学生3 中学生1	(仮称)下井草まちづくりラボと一緒に実施
3	令和6年8月8日	木 8:45 ~11:45	小学生3 中学生1	関教授より鉄道連続立体交差事業の内容の説明を聞いた後、将来住みたいまちの模型を作成した。
4	令和6年8月24日	土 9:00 ~11:30	小学生3	(仮称)下井草まちづくりラボと一緒に実施



**課題** (Orange note)

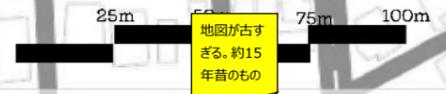
**魅力** (Blue note)

**提案・質問** (Yellow note) (質問は左上にQを記載)



**凡例**

- まちあるき範囲
- - - 交通量少ない通り (一部ガードパイプあり)
- ..... 交通量多い通り
- チェックポイント



下井草駅周辺  
まちあるきマップ



下井草2号踏切

下井草1号踏切

下井草4丁目

井草東公園

さの赤い椅子

信用金庫前

宮5号踏切

旧早稲田

三井住友銀行

(歩行者空間、車いす)

商店街

三峯神社

八城区民集会所

(休憩所、パネル展示)

ピニールハウス

花卉屋(カキヤ)

お花の

生産緑地

(お稲荷様)

井草さくら公園

見回りの人がいて安心

下井草4丁目交差点付近は、大型車が多い歩道が片側のみ

補助215号線は、交通量が多いので、歩道・自転車レーンを設置

Q: 改札が増えると便利だが、商店街のにぎわいが減るのか

Q: 現在南側にバス停をなぜ北側に移したいのか

一方通行という案もあるが、もう一方の道になったところは、車が多くなり、大変なことになる

旧早稲田通りは狭いため、電柱を地下にして欲しい

旧早稲田通りは歴史の道。このままの幅員で歩きやすく一方通行化してほしい

赤い椅子をもっとアピールしてはどうか

とにかく静かな下井草にして欲しい

車道と歩道の分離をパイプなどでして欲しい

大木の使途 → 以前は、お稲荷さんの建替えのため、定期的に利用・植替えしていた

非常に良い生活道路があり、曲がりのない道路整備が良い

農作物が売っていた(ブルーベリー)

駅前でもみどりが多い

静かなエリア

みどり

道路を広くて住んでいる人は立ち退かないといけない。そういうことがないまちづくりをして欲しい

北側の商店街の活用化

一方通行で人や車の流れをスムーズにしている

Q: 現在南側にバス停をなぜ北側に移したいのか

みどりの豊かさで空の広さを守る

静かな一方通行を残すべき

ファミレスを増やしてほしい

静かな一方通行を残すべき

赤い椅子をいっばい増やしてイベントでも活用したい

バスは迂回路に有効。活用してほしい

補助215号線は、交通量が多いので、歩道・自転車レーンを設置

補助215号線は、交通量が多いので、歩道・自転車レーンを設置

補助215号線は、交通量が多いので、歩道・自転車レーンを設置

補助215号線は、交通量が多いので、歩道・自転車レーンを設置

観音堂やお稲荷さん等の古い施設

歴史ある建物がある

観音堂はみんなが利用できる場所へ

駅前は車が通り抜けにくいので、一方通行でいいと思う

駅周辺で残された唯一のみどりの多い静かな道

駅周辺で残された唯一のみどりの多い静かな道

駅周辺で残された唯一のみどりの多い静かな道

駅周辺で残された唯一のみどりの多い静かな道

駅周辺で残された唯一のみどりの多い静かな道

駅周辺で残された唯一のみどりの多い静かな道

駅周辺で残された唯一のみどりの多い静かな道

駅周辺で残された唯一のみどりの多い静かな道

駅周辺で残された唯一のみどりの多い静かな道

個人経営の店が増えて欲しい

良い飲食店が多い

歩道が狭いので車が来ると危ない

歩道をフラットにしたらどうか

歩道の段差をなくして歩きやすくしてほしい

旧早稲田通りは狭いため、電柱を地下にして欲しい

旧早稲田通りは狭いため、電柱を地下にして欲しい